

8.2 パイピングの検討

パイピングの検討は、式(8.2.1)もしくは式(8.2.2)を満足することを照査する。

$$d_1 + d_2 \geq 2H \quad (\text{水中掘削の場合}) \dots\dots\dots (8.2.1)$$

$$2d_2 \geq H \quad (\text{陸上掘削の場合}) \dots\dots\dots (8.2.2)$$

ここに、 d_1 ：現地盤からの根入れ長（m）

d_2 ：掘削底面からの根入れ長（m）

H ：水面から掘削底面までの高さ（水位差）（m）

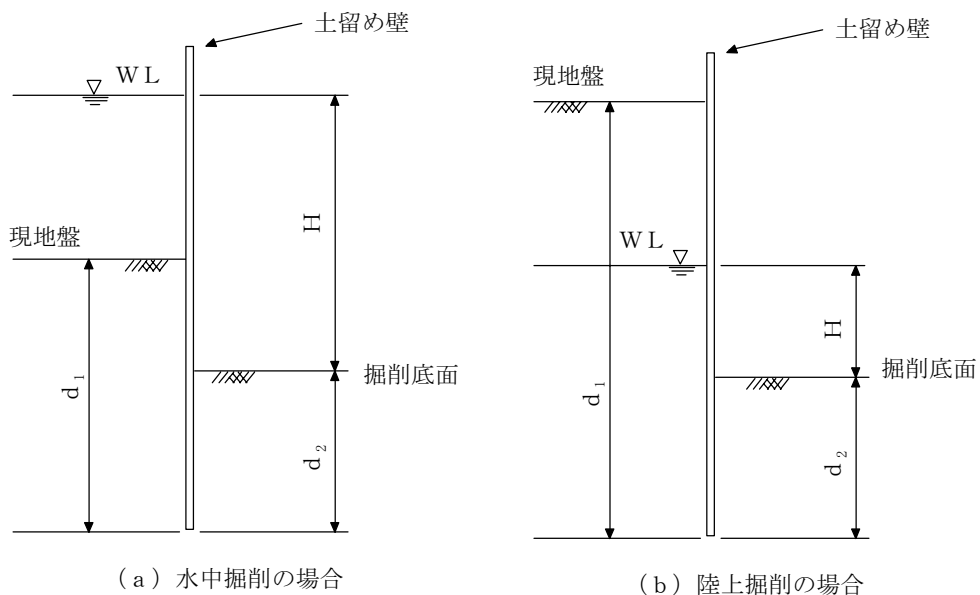


図 8.2.1 パイピングの検討

(解 説)

パイピングとは、ボイリング状態が局部的に発生し、それが土留め壁近傍や中間杭忠面のような土とコンクリートあるいは鋼材等の異質の接触面に沿って上方に深厚し、パイプ状にボイリングが形成される現象である。このためパイピングに対する検討は、浸透流路長と水位差の比を考慮した式から検討を行うこととした。